

2017年4月20日
レオス・キャピタルワークス株式会社

ひふみ投信、ひふみプラスの「R&I ファンド大賞 2017」最優秀ファンド賞受賞について

レオス・キャピタルワークス株式会社 (URL: <http://www.rheos.jp/> 本社: 東京都千代田区 代表取締役社長: 藤野 英人) が運用する投資信託「ひふみ投信」、「ひふみプラス」が株式会社格付投資情報センター (R&I) が選定する「R&I ファンド大賞 2017」のNISA/国内株式部門で最優秀ファンド賞を受賞いたしました。

当社は今回の受賞を励みとして、更なる運用成績の向上と質の高いサービスで、ひふみ投信を通じてお客様の資産形成を長期にわたって応援できるよう努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

表彰部門: NISA/国内株式部門 賞名: 最優秀ファンド賞

受賞ファンド名: ひふみ投信/ひふみプラス



「R&I ファンド大賞 2017」について

「R&I ファンド大賞」は、R&I 等が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報 (ただし、その正確性及び完全性につきR&I 等が保証するものではありません) の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務 (信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&I 等に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<選考方法>

「投資信託部門」、「iDeCo・DC 部門」、「確定給付年金部門」では2015、2016、2017年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2017年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「NISA 部門」では「R&I NISA スクリーニング」の2017年版 (2月10日に公表) の基準を満たしたファンドに関して、2017年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。「投資信託10年部門」では、2012、2017年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2017年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2017年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託部門」、「iDeCo・DC 部門」、「NISA 部門」、「投資信託10年部門」では「シャープ・レシオ」を採用、「確定給付年金部門」では定量評価ごインフォメーション・レシオを採用している。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託部門」、「投資信託10年部門」では残高が30億円以上かつカテゴリ内で上位50%以上、「NISA 部門」では残高が30億円以上、「iDeCo・DC 部門」では残高が10億円以上かつカテゴリ内で上位75%以上の条件を満たすファンドとしている。なお、「投資信託部門」、「iDeCo・DC 部門」、「NISA 部門」、「投資信託10年部門」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金部門」では受賞区分を設けていない。「投資信託/総合部門」では、2017年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位2社を「優秀賞」として表彰している。「投資信託部門」、「投資信託/総合部門」および「投資信託10年部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「iDeCo・DC 部門」はiDeCo・DC (個人型および企業型確定拠出年金) 向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA 部門」はNISA (少額投資非課税制度) 向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金部門」は『R&I ユニバーサルデータサービス』に登録されている運用商品を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。

受賞ファンド「ひふみ投信」、「ひふみプラス」について

□ 「ひふみ投信」の概要

ひふみ投信は「できるだけ安いコストで、幅広いお客様の資産形成を長期にわたって応援したい」という思いを「ためてふやす」という考え方で、当社レオス・キャピタルワークス(株)が直接販売する投資信託です。ローコストかつ安定した運用で、2008年10月設定以来+292.94%の運用成績を残しています。(2017年3月末現在) また、お客様が自由に「金額」と「引落日」を設定して金融機関口座から自動引き落としとして購入する「自由つみたて」や、長期に保有していただいた口数に対し、信託報酬の一部を還元する日本初の仕組み「資産形成応援団(信託報酬一部還元方式)」などの新しい仕組みを積極的に取り入れ、投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2016 では特別賞を受賞するなど、お客様に大変ご好評をいただいております。 基準価額39,294円 純資産総額491.65億円 (2017年3月末現在)

□ 「ひふみプラス」の概要

ひふみプラスはレオス・キャピタルワークスが直接販売する「ひふみ投信」と同じひふみ投信マザーファンドに投資する姉妹ファンドとして、現在40社の販売会社にご販売頂いている投資信託です。ローコストかつ安定した運用で、2012年5月28日設定以来+220.01%の運用成績を残しています。(2017年3月末現在) 販売会社のみならず、そしてお客様からの安定した資金の流入に支えられ純資産総額は1,000億円を超え、姉妹ファンドの「ひふみ投信」とともに投信プロガーが選ぶ! Fund of the Year 2016 では特別賞を受賞するなど、お客様に大変ご好評をいただいております。 基準価額32,001円 純資産総額1350.45億円 (2017年3月末現在)

□ 「ひふみ投信」、「ひふみプラス」に係るリスクについて

ひふみ投信、ひふみプラスは、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株価価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

□ お客様の負担となる費用について

「ひふみ投信」

- ・お客様に直接ご負担いただく費用：ありません
 - ・お客様に間接的にご負担いただく費用：信託報酬 信託財産の純資産総額に対して 年1.0584%(税抜年0.980%)
 - ・監査費用：信託財産の純資産総額に対して年0.0054%(税抜年0.005%) なお、上限を年間54万円(税抜年間50万円)とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。
 - ・その他の費用：組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など
- ※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

「ひふみプラス」

- ・お客様に直接ご負担いただく費用：申込金額に対する手数料率は3.24%(税抜3.00%)を上限として、販売会社が定める料率とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。「自動つみたて投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。
 - ・お客様に間接的にご負担いただく費用：信託報酬 信託財産の純資産総額500億円まで 年1.0584%(税抜年0.980%) 信託財産の純資産総額500億円を超える部分 年0.9504%(税抜年0.88%) 信託財産の純資産総額1,000億円を超える部分 年0.8424%(税抜年0.78%)
 - ・監査費用：信託財産の純資産総額に対して年0.0054%(税抜年0.005%) なお、上限を年間54万円(税抜年間50万円)とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。
 - ・その他の費用：組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など
- ※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

本件に関するお問い合わせ先

レオス・キャピタルワークス株式会社

マーケティング・広報部 白水 美樹

電話 (03) 6266-0124 Mail mktg@rheos.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会/一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会